

一般質問通告一覧表

※質問予定日は変更になる場合があります

令和8年9月定例会 No.1

発言 順位	氏 名 (会派) [質問予定日]	項 目	要 旨	答弁者
1	飛 松 妙 子 (公 明 党) [9 月 8 日]	1. 防災・減災対策	1. R8年熊本地震を受けて鳥栖市が職員派遣を行った際に浮き彫りになった「課題・問題点」について、市長に伺う 2. 鳥栖市地域防災計画とのギャップについて (1)避難情報発令について、夜間の判断基準は？ (2)避難所の環境整備について ・酷暑対策（体育館等の冷房設備の設置） ・段ボールベッドの備蓄数・パーテーション数など (3)大規模災害時の要配慮者は、福祉避難所3箇所の定員268人で大丈夫なのか？ 3. 発災直後から深刻化するトイレ問題について (1)発災初期（3日間）を生き延びる「携帯トイレ」の備蓄量と、備蓄・調達する携帯トイレの「品質」は担保されているか？（指定避難所の収容想定者（約11,500人分） (2)仮設トイレ・マンホールトイレの設置とプライバシー確保について (3)トイレカー・トイレトレーラーについて 4. 子どもと防災について (1)発達障害やアレルギーなど「個別ニーズを持つ子ども」への避難所での対応について (2)保護者との『引き渡し訓練』は実施されているか？保護者との共通認識づくり (3)災害用伝言ダイヤル（171）の実践的な普及・訓練 5. 防災課新設について、市長の見解は？	市 長 教 育 長
		2. 文化芸術振興について	1. 文化振興奨励金の創設の効果について 2. 鳥栖市文化祭等への参加ハードル低減（出演料・使用料の見直し）について 3. 作品発表・展示場所について、公共スペースを「まちかどギャラリー」として活用し、市民が気軽に発表できる場を増やせないか？ 4. 図書館リニューアルに向けた提案 (1)音のゾーニング（静寂と賑やかさの共存）設計の導入 (2)防音性と可変性を備えた「多目的市民ギャラリー（展示室）」の新設	市 長 教 育 長
		3. 鳥栖まちづくり推進センター建設について	1. 西側道路の拡幅や安全対策は、周辺整備工事設計業務の中に反映されたか 2. 水路の暗渠化・高低差処理による西側通学路の一体的な安全整備について 3. 三角地を含む全区間の道路拡幅および用地協議について 4. 西側通学路全体の一体的な段差解消と道路拡幅について、市長（市民環境部長、建設部長）に伺う	市 長

発言 順位	氏 名 (会派) [質問予定日]	項 目	要 旨	答弁者
2	牧 瀬 昭 子 (彩 り の 会) [9 月 8 日]	1. 熊本地震の教訓を踏まえた避難所施策について	1. 指定避難所の想定収容人数と、プライバシーや安全性を確保した避難生活環境について 2. 車中泊・在宅避難など、指定避難所以外で避難する市民の把握と支援体制について 3. 避難生活が長期化した場合のホテル・旅館等を活用した二次避難及び移送体制について 4. パーティション等の防災資機材について、市の備蓄、県内自治体間の相互融通、国・県等からの支援を組み合わせた確保・供給体制について 5. 指定避難所における猛暑対策及び県の支援制度を活用した大型スポットクーラー等の導入について 6. 学校体育館への恒久的な空調設備の整備方針及び今後のスケジュールについて 7. 今回の熊本地震の教訓を踏まえ、災害関連死を防ぎ、避難者の安全と尊厳を守る避難体制をどのように構築していくのか、市長の見解を伺う	市 長 教育長
		2. 被災地支援のための災害ボランティアバス運行体制について	1. 鳥栖市及び鳥栖市社会福祉協議会における、過去の災害ボランティアバスの運行実績と検証について 2. 今般の熊本地震に対するボランティアバス運行の検討状況及び、過去の災害時との対応の違いについて 3. 被災地のボランティアニーズの把握方法、運行の判断基準並びに市、社会福祉協議会の役割分担 4. バス借上料、燃料費、高速道路料金、保険料等に対する国等の支援制度の活用及び市による財政的・人的支援について 5. 今後の災害ボランティア派遣体制の構築に対する市長の見解について	市 長
		3. 妊娠期から産後・子育て期まで切れ目のない支援体制の構築について	1. 妊娠期から産後・子育て期への支援の継続状況について 2. 子育て世帯訪問支援事業の具体化について 3. 親子関係形成支援事業の具体化について 4. 行政、関係機関および地域団体との連携による支援体制について 5. DV等により生活基盤が急変した子育て世帯への支援について 6. こども計画における切れ目のない支援体制の構築に対する市長の考えを伺う	市 長
		4. 小中学校における日本語教育と多文化共生について	1. 日本語指導が必要な児童生徒の現状と日本語教育の充実について 2. 日本語指導時間の確保と学習保障について 3. 多文化共生に関する学校での取り組みについて 4. 本市の教育において多文化共生をどのように進めていくか	教 育 長

発言 順位	氏 名 (会派) [質問予定日]	項 目	要 旨	答弁者
3	藤 田 昌 隆 (新風クラブ) [9 月 8 日]	1. 生活道路における 自動車法定速度の引 き下げについて	1. 生活道路とはどのようなものか 国道、県道、市道、里道と分類されているのか 2. 標識、案内看板等の設置について 3. 市内で何本の対象道路があるのか 4. 60km/h→30km/hについての市民広報は？ 5. 交通対策協議会、区長会等への説明会について 6. 自転車も車として扱いもされるが、小中学校での指導につ いて 7. 罰則等について	市 長 教育長
		2. 線引き制度の廃止 について	1. 市街化調整区域における、現在市が行っている各施策につ いて、施策名、目的、法令等の根拠 2. 各施策の進捗状況 3. 線引き廃止になった場合のプラス面・マイナス面について (税制面等)	市 長
4	中 川 原 豊 志 (自民クラブ) [9 月 8 日]	1. 市長公約と次期市 長選への考えについ て	1. 市長の任期もあと半年余りとなりました。この間の成果と 課題について 2. 次期市長選への出馬について	市 長
5	山 下 繭 美 (自民クラブ) [9 月 8 日]	1. 鳥栖市の防災力向 上に向けて	1. 防災協議会に向けた前回の質問後の研究・検討状況につ いて 2. 市民や自主防災組織が防災について学ぶ場の必要性につ いて 3. 防災士等の人材や関係団体と連携した防災学習の機会づく りについて 4. 地域・企業・医療・福祉・行政等をつなぐ防災ネットワー クの構築について 5. 防災協議会の設置に向けた今後の取り組みについて	市 長
		2. 働きながら家族と 自分を支える人への 支援について	1. 働く世代が抱える仕事・家庭・自身の心身に関する複合的 な負担について 2. ケアラー・ダブルケアラー等、家族を支えながら働く人へ の支援について 3. 心身の不調や生活上の悩みを抱えながら働く人への相談・ 支援体制について 4. 企業・医療機関・地域と連携した働く世代を支える仕組み づくりについて 5. 働く世代から選ばれ、安心して住み続けられるまちづくり について	市 長
		3. こどもを中心とし た持続可能な居場所 づくりと地域行政の 連携について	1. 善意のボランティアに依存しない持続可能な支援について 2. 地域のつながりを活かしたこどもを支えるまちづくりにつ いて 3. こどもを中心とした部局横断型のまちづくりについて	市 長 教育長

発言 順位	氏 名（会派） 〔質問予定日〕	項 目	要 旨	答弁者
6	和 田 晴 美 （新風クラブ） 〔9月9日〕	1. 被害実態を踏まえ、効果検証と地域ぐるみで進める持続可能な鳥獣害対策	1. 有害鳥獣による被害の実態 2. 有害鳥獣被害が農業経営及び営農意欲に与える影響について 3. 有害鳥獣対策の目的と今後の目標 4. 地域計画と有害鳥獣対策の必要性 5. 有害鳥獣対策に要する事業費とその効果検証 6. 侵入防止柵の更新・再整備と今後の対策について 7. 地域ぐるみで取り組む有害鳥獣対策と市の役割について	市長
		2. 鳥類による農作物被害対策における公道での銃器使用について	1. 鳥類捕獲における公道での銃器使用の現状 2. 人の日常生活圏における銃器使用に関する法改正の背景と目的 3. 銃器を使用しない鳥類被害対策の検討 4. 地域からの要望と公道での銃器使用を許可する判断について 5. 公道における銃器使用を許可しない方向への見直しについて	市長
7	上 村 典 子 （自民クラブ） 〔9月9日〕	1. 鳥栖市の観光資源を生かした交流人口・地域経済の創出について	1. 既存の観光資源を生かした観光振興の現状と課題について 2. 観光資源をつなぎ、市内回遊を促す取組について 3. 観光資源の活用による地域経済への波及について 4. 交流人口の拡大と地域経済の創出に向けた中長期的な観光戦略について	市長
		2. サザン鳥栖クロスパークについてーゼロカーボンと市民共創のまちづくりー	1. 開発の目的と市の役割について 2. ゼロカーボンの実現について 3. エネルギーの確保について 4. 緑地・調整池等の環境対策について 5. 地域交流施設と市民参加について 6. 民間活力と先進技術の活用について 7. GX戦略地域について	市長
8	下 田 辰 也 （自民クラブ） 〔9月9日〕	1. 大規模災害に備えた鳥栖市の防災体制の強化について	1. 大規模災害を想定した鳥栖市の防災体制について 2. 大規模災害時のライフラインへの、対応、避難所機能と避難生活への備えについて 3. 災害情報の収集・消防団との連絡体制・地域の力を生かした防災体制について	市長
		2. 市街化区域・市街化調整区域の区域区分の見直しについて	1. 市街化調整区域における現在の課題について 2. 50戸連たん制度等、現在の制度による地域活性化について 3. 新鳥栖駅東側約13haを契機とした周辺地域の一体的なまちづくりについて 4. 人口減少地域の活性化と市街化区域への編入を含む土地利用について 5. これからの鳥栖市の区域区分・土地利用のあり方について	市長

発言 順位	氏 名（会派） 〔質問予定日〕	項 目	要 旨	答弁者
9	成 富 牧 男 （日本共産党議員団） 〔 9 月 9 日 〕	1. 契約事務について	1. 入札等における予定価格は、競争性、公正性、談合防止等の観点から国県に倣って、原則事前公表から事後公表に見直すべきでは (1)本市は予定価格の事後公表を試行してきた。その検証結果は (2)事前公表としなければならない合理的理由は 2. プロポーザルでの業者選定における、①選定委員会メンバー②応募した事業者については透明性確保の観点から公表すべきでは	市 長
		2. 子どもの医療費助成制度について	1. 子どもの医療費の窓口負担無料化は保護者の切実な声であることは、鳥栖市が実施したアンケートからも明らか。県内ですでに実施しているところもあるなか鳥栖市はなぜしないのか	市 長
		3. 小中学校体育館への空調設置について	1. 調査・検討は現在どこまで進んでいるのか。空調設置時期はいつ頃を考えているのか 2. 県の補助制度も活用して、つなぎとしてのスポットクーラーの設置を考えるべきでは	市 長 教育長
10	田 村 弘 子 （架け橋の会） 〔 9 月 9 日 〕	1. 路線バス河内線の廃止について	1. 路線バス河内線の廃止の理由・現状 2. 廃止による影響 3. 廃止の影響に対して市の考え 4. 地元住民や利用者への説明・周知のあり方について 5. 今後の公共交通のあり方について	市 長
		2. 小中学校体育館の空調整備	1. 小中学校体育館の空調設備の現状と整備状況について 2. 空調整備に向けた現在の調査・検討内容と今後のスケジュールについて 3. 県による暑さ対策支援と今後の空調環境の整備について 4. 夏季における体育授業等の教育環境への影響と安全対策について 5. 学校体育館への空調整備の整備完了時期について	市 長 教育長
		3. ネスティバルと鳥栖駅周辺のまちづくり	1. 今年度のネスティバルの開催目的・位置づけについて 2. ネスティバルとなんでんアッ祭の開催目的・位置づけの違いについて 3. ネスティバルに対する市民の関わり方と受け止め 4. ネスティバルを鳥栖駅周辺の賑わい創出にどのようにつなげていくのか 5. ネスティバルの成果を今後の鳥栖駅周辺のまちづくりにどのように生かしていくのか	市 長
11	重 松 忠 （ 参 政 党 ） 〔 9 月 10 日 〕	1. 災害時における避難所の生活環境と物資供給体制について	1. 災害備蓄・物資確保体制の強化 2. 避難所への搬送・配分とラストワンマイル対策 3. 災害対応の実効性を高める体制・訓練・検証	市 長
		2. 鳥栖市教科「日本語」10年の成果検証と、次の10年に向けた教育について	1. 教科「日本語」10年間の成果と課題をどう検証するのか 2. 市民への認知と、デジタル・紙の教材をどう考えるのか 3. 多文化共生の時代に教科「日本語」をどう次の10年へつなぐのか	教育長
		3. 基里中学校舎の大規模改造工事について	1. 将来の児童生徒数を踏まえた学校施設と教育環境の在り方 2. 施設一体型を見据えた既存施設の利活用と地域への還元 3. 基里を鳥栖市の小中一貫教育のモデルに	市 長 教育長

発言 順位	氏 名 (会派) [質問予定日]	項 目	要 旨	答弁者
12	中 山 龍 一 (飛 鳥 会) [9 月 10 日]	1. 西九州新幹線ルートと鳥栖駅・新鳥栖駅について	1. 鳥栖駅の高架化の実現可能性及びその規模と、新幹線の新鳥栖駅分岐との関連性についての市長の認識は 2. 新鳥栖駅分岐を巡る国・県の検討状況と、それに対する本市の基本的なスタンスは 3. 環境アセスメントの一般的な進め方は。また、アセスメントの範囲や想定ルートはどのタイミングで決まるのか 4. 環境アセスメントが進む中での本市の意見表明の機会の有無、及びそれに向けた庁内での検討状況は 5. 新鳥栖駅で分岐されるべきものと市長は答弁してきたが、これまでに県や国に意見をしてきたことがあるか 6. 今後、新鳥栖駅分岐の実現に向けて、県や国に対して働きかけを行っていく考えはあるか。また、地元の機運を高める取り組みをこれから行う意欲や意思は市長にあるか	市 長
		2. 新鳥栖駅周辺整備について	1. 新鳥栖駅周辺（東側）整備の進捗状況について 2. 令和9年度以降の予定について 3. 新鳥栖駅西側に位置する朝日山について、観光交流拠点として整備するとした市長公約の進捗状況及び今後の取り組みへの市長の見解は	市 長
		3. 四阿屋遊泳場について	1. 今年の運営体制と反省点はあるか 2. 駐車場有料化についての検討は 3. 観光拠点としての活用について	市 長
13	野 下 泰 弘 (鳥栖市民ねっと) [9 月 10 日]	1. 熊本地震を受けての市内小中学校体育館空調設備の設置について	1. 体育館を防災上どう位置付けているのか。役割は 2. 熊本地震を踏まえ、暑い中での避難所の「生活環境」をどう考えるのか 3. 国が体育館空調の整備目標を4年前倒ししたことをどう受け止めているか。また、現在どこまで調査・検討が進んでいるのか 4. いつまでに整備するのか 5. 県のスポットクーラー応急整備支援事業費補助を活用する考えはあるのか	市 長 教 育 長
		2. 防災三者協定の現状について	1. 2023年に締結されたが、現状はどうなっているのか。また、今後の展望は 2. 防災計画上の協定の位置づけや、担当職員の行動はどうなっているのか 3. 四者協定の計画はないのか	市 長
		3. スケートボードパークについて	1. 2027年3月末に閉校予定の龍谷短期大学の跡地購入はどうなっているのか？来年度予算化されるのか？ 2. スケートボードやBMXのできるパークを検討すべきではないか	市 長

発言 順位	氏 名（会派） [質問予定日]	項 目	要 旨	答弁者
14	池 田 利 幸 （ 公 明 党 ） [9 月 10 日]	1. 災害に備えて	1. 令和8年熊本地震への職員派遣の現状と教訓 2. 避難所は長期避難生活に耐えうる環境が整っているか 3. 高齢者・障害者など避難行動要支援者への支援体制 4. 在宅避難者・車中泊避難者の把握と支援 5. デジタルツールを使った避難者把握と支援への見解 6. 市職員の負担軽減と災害協定 7. 大規模災害時に地域防災計画が本当に機能するのかの検証と訓練の必要性	市 長
		2. 障害者の就労支援について	1. 本市における障害者就労支援の現状と課題 2. 就労に係る移動手段への見解 3. 本市の就労移行支援および就労継続支援事業所の現状 4. 県・国との連携について	市 長
15	永 江 ゆ き （ 彩 り の 会 ） [9 月 10 日]	1. 不登校等の子ども若者の学びと社会参加を支える支援について	1. 不登校等の子供若者を取り巻く現状について (1)不登校児童生徒の現状と推移 (2)不登校等の子供や保護者が抱える進路・社会参加に関する課題認識 2. 高校進学相談会より明らかになった支援ニーズについて (1)高校進学相談会の開催結果に対する認識 (2)切れ目のない子供・若者家庭の支援ニーズ (3)関係機関が連携して取り組んだ効果について 3. 今後の継続的な支援体制について (1)こども家庭センターを中心とした切れ目のない支援体制の構築について (2)学び、進路、社会参加を支えるための継続的な高校進学相談会の開催について	市 長 教 育 長
		2. 鳥栖市の情報発信の在り方について	1. SNSを活用した効果的な情報発信について (1)鳥栖市が活用する各媒体の目的と役割について (2)それぞれの強みをどう活かすか検証しているのか 2. 公式ラインの特性を活かした情報発信について	市 長

発言 順位	氏 名 (会派) [質問予定日]	項 目	要 旨	答弁者
16	西 依 義 規 (新風クラブ) [9 月 10 日]	1. 鳥栖駅周辺の将来像と駅東側低未利用地の早期活用について	1. 短期施策完了後を見据えた鳥栖駅周辺の将来像と、その中の駅東側の位置付けをどのように考えているのか 2. 商工会議所から提出された鉄道高架事業及び駅周辺再開発に関する要望を、市としてどのように受け止め、今後のまちづくりに反映していくのか 3. 鉄道高架事業について、現在の線路幅内での整備を含め、J R九州及び佐賀県と実現可能性を検討する考えはないか 4. 鉄道高架事業の検討には長期間を要することも想定されるが、その検討と並行して、駅東側低未利用地（駐車場も含む）の早期活用を進める考えはないか 5. 鳥栖駅東側で進めるオフィス機能創出事業について、鳥栖駅周辺全体の将来像の中で、どのような役割を担う事業として位置付けているのか 6. 駅前の貴重な市有地を長期間活用する事業として、オフィス機能創出事業にどのような公益性や地域への波及効果を求めているのか 7. 駅東側低未利用地（駐車場も含む）について、土地利用の方向性、導入機能、基盤整備及び事業手法等を示すグランドデザインを策定し、オフィス機能創出事業に続く新たな事業を早期に具体化する考えはないか 8. 鳥栖駅前と中央公園、フレスポ周辺、京町、本通町を含めた一体的なまちづくりに向け、県、J R九州、商工会議所及び民間事業者等との協議・連携を、今後どのような体制で進めていくのか	市 長
		2. 新鳥栖駅周辺のまちづくりと治水対策について	1. 令和8年3月以降、新鳥栖駅周辺の土地利用及び基盤整備について、具体的にどのような検討を進めてきたのか 2. 新鳥栖駅開業から15年以上が経過する中、これまで西側の土地利用が十分に進まなかった要因をどのように分析し、その課題を今後の東側を含む駅周辺のまちづくりにどう反映していくのか 3. 新幹線駅周辺型地区計画について、面積要件を一部0.5ヘクタール以上に緩和した理由は何か。また、新幹線駅の利便性を生かし、どのような土地利用を誘導していく考えなのか 4. 住宅、商業、公園等の各土地利用ゾーンについて、浸水想定区域及び家屋倒壊等氾濫想定区域との関係をどのように検証し、その結果を土地利用計画に反映しているのか 5. 市独自の雨水貯留浸透施設に関する基準を削除し、県の基準に移行した場合でも、従来と同等以上の治水安全性を確保できると判断した根拠は何か 6. 駅周辺の開発に伴う雨水流出量の増加をどのように見込み、安良川を含む下流域への影響をどのように検証していくのか 7. 複数の開発が進んだ場合の累積的な雨水流出量の増加をどのように把握・検証するのか。また、必要となる調整池等の整備及び将来の維持管理を誰が担うのか 8. 安良川の現在の流下能力をどのように評価しているのか。また、駅周辺の開発を進めるに当たり、必要な河川整備や雨水対策を先行又は一体的に進める必要があると考えるが、市の見解は 9. 土地利用と治水対策について、これまで県とどのような協議を行ってきたのか。また、安全性の確保を前提とした駅周辺開発の具体的な工程を、いつまでに示す考えなのか	市 長

発言 順位	氏 名 (会派) [質問予定日]	項 目	要 旨	答 弁 者
17	古 賀 秀 樹 (自民クラブ) [9 月 11 日]	1. 人口減少時代における市街化調整区域の在り方について	1. 本市の人口減少、少子高齢化の現状と、市街化調整区域における既存集落の人口動態について 2. 市街化調整区域における住宅建築、空き家等の現状と、既存集落の人口減少、地域コミュニティ維持における課題について 3. 50戸連たん制度の導入目的、これまでの運用実績及び人口減少抑制、地域コミュニティ維持への効果検証について 4. 人口減少時代に対応した市街化調整区域の土地利用について、現行制度の見直しを含めた今後の考え方について	市 長
18	古 賀 克 則 (自民クラブ) [9 月 11 日]	1. 多目的グラウンドについて	1. 現在の取り組み状況は	市 長
		2. 小中学校体育館の空調について	1. 進捗状況は	教育長
		3. 側溝の清掃について	1. どこが管理しているのか	市 長
19	伊 藤 克 也 (新風クラブ) [9 月 11 日]	1. 大規模災害時における「生活用水」の確保と分散型水インフラネットワークの構築について	1. 大規模断水時における「生活用水」の確保と供給体制について 2. 「災害時協力井戸」制度の創設について (1)民間・家庭用井戸を事前登録し共有する「災害時協力井戸」制度を創設する考えは (2)登録推進のためのインセンティブ（水質検査費補助、機材購入助成、標識配布等）の整備について 3. 町区公民館敷地内への「防災井戸」設置支援について (1)自主防災組織の機能として「防災井戸」の設置補助金や「手押しポンプ」「ポータブル電源」等の導入支援について 4. 市内企業・大規模施設（深井戸保有事業者）との協定の实效性向上と拡充について (1)既協定企業との災害時の「生活雑用水」の協定状況と内容について (2)協定企業の「免責規定」の導入について 5. アサヒビール新工場との「水インフラ活用・災害時応援協定」の早期締結について (1)アサヒビール新工場の水インフラ活用に向けた現段階での事前協議について (2)今だからこそ可能なハード対策（非常用給水バルブ設置、給水動線確保等）の働きかけができるのではないかと。現在、「佐賀県、鳥栖市、及びアサヒグループ株式会社との連携に関する協定」が結ばれている。この枠組みを活用し、ハード面の仕様について協議を始めてほしいが本市の見解を伺う 6. 分散型水インフラネットワークの構築と「水資源の利活用」のビジョンについて (1)基幹拠点としての「小学校8校手動式防災井戸」の設置、地域拠点として町区公民館敷地内への「防災井戸」の導入、分散補完として「協力井戸」の導入により分散型水インフラネットワークの構築と佐賀県、鳥栖市、アサヒグループ、3者の連携協定締結に向けて、防災体制の構築に向けた「水資源の利活用」のビジョンについて市長の思いを伺う	市 長 教育長